



# 夏休み、どの本よもうかな？ (5、6年生)

## チビ竜と魔法の実 シンダ! 1

とみやすようこ ちよ おおぼけんや え かいせいしゃ  
富安陽子/著 大庭賢哉/絵 偕成社 (J 913/ト)

しのだけ  
信田家は、パパとママ、そしてユイ、タクミ、モエの3人の子どもたちの5人家族です。ごく普通の家族に見えるけれど、実は絶対(ひみつ)に知られちゃいけない秘密がありました。それは、ママの正体がキツネだということです。そんな信田家のお風呂に、ある日、小さな竜(りゅう)が迷い(まよ)てきました。



## 耳の聞こえない子がわたります

マーリー・マトリン/作 日当陽子/訳 矢島眞澄/絵  
フレーベル館 (J 933/マ)

耳が聞こえないけれど、とても元気な女の子ミーガンは、近所に同じ年の女の子が引っこしてくると知り、うれしくてたまりません。その子の名前はシンディ。聞こえるけれど内気な女の子でした。2人は友達になれるでしょうか。



## いいたいことがあります！

うおずみなおこ ちよ にしむら え かいせいしゃ  
魚住直子/著 西村ツチカ/絵 偕成社 (J 913/ウ)

6年生(ひなご)の陽菜子は、勉強(かじ)のほかに家事(かじ)もしますが、お兄ちゃん(おやどり)は家事(かじ)をしません。不公平(ふこうへい)だと思っても、お母さんにはいいたいことが言えなくて…。そんなある日、見知らぬお姉さん、スージーが陽菜子の前に現れました。



## 青いつばさ

シェフ・アールツ/作 長山さき/訳 徳間書店 (J 949/ア)

ジョシュには、知的しょうがいのある兄(ちてき)がいます。ある日、ケガをして親鳥(おやどり)とはぐれた鶴の子を見つけると、兄は家に連れて帰るといって聞きません。その日から、いっしょに鶴の世話をすることになって…。兄弟2人の成長物語。



## キリンの運びかた、教えます 電車と病院も！？

いわさだ ぶん こ え こうだんしゃ  
岩貞みこ/文 たら子/絵 講談社 (J 680/イ)

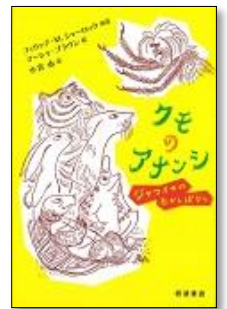
岩手県の動物園で生まれたキリンのリングが、東京の上野動物園にお嫁入り(よめい)することが決まりました。背の高さが3メートルをこえるリングを、輸送箱(ゆそうばこ)に入れて運びます。いったい、どのように運ぶのでしょうか？ 運ぶ「プロ」たちの奮闘(ふんとうま)記。



## クモのアナンシ ジャマイカのおかしばなし

フリップ・M. シャーロック/再話 マーシャ・ブラウン/絵  
こみやゆう やく いわなみしよてん  
小宮由/訳 岩波書店 (J 933/シ)

むかし、ジャマイカ島に、時々人間になるずるがしこいクモがいました。アナンシという名のクモが、知恵を使って、自分より強い動物をやっつけたり、だましたりする楽しい昔話。



## イクバル 命をかけて闘った少年の夢

キアラ・ロッサーニ/文 ビンバ・ランドマン/絵 関口英子/訳  
にしむらしよてん  
西村書店 (J 366/ロ)

パキスタンの貧しい村に生まれたイクバル少年は、父親(しやっかん)の借金(さい)のため、4歳の時から、じゅうたん工場(せい)で働かされていました。お織(おま)り機(か)にくさり(つ)つながれることもありましたが、自由(ま)になることをあきらめず(あきらめず)に行動(こうどう)し続けました。



## 鳥右エ門諸国をめぐる

にいみなんきち まく ながの が いわさしよてん  
新美南吉/作 長野ヒデ子/画 岩崎書店 (J 913/ニ)

ぶし  
武士(ぶし)の鳥右エ門(とりえもん)は、生きた犬(いぬ)を放(はな)つて馬(うま)の上(うへ)から射(い)殺(ころ)す、犬追物(いぬおうち)の名人(めいじん)といわれ、得意(とくい)になっていました。ところが、これは良いことではないと気づいた鳥右エ門(とりえもん)は、正しい生き方(まじかた)を見つけるため、しよこく 諸国(しよこく)をめぐることにしました。

